

## I 港区が目指すこれからの教育（港区教育ビジョン）

### 1 基本理念

すべての人の学びを 支え つなぎ 生かす

### 2 目指す人間像

生涯を通じて夢と生きがいをもち、自ら学び、考え、行動し、未来を創造する人

## II 港南中教育ビジョン（目指す教育像）

### 1 学校教育目標

- (1) すすんで、豊かな心と健やかな身体を育む生徒
- (2) すすんで、自他の敬愛と協力を重んずる生徒
- (3) すすんで、学ぶ意欲と深く考える力を伸ばす生徒

### 2 目指す生徒像

- あいさつのできる生徒（あいさつ）
- 行事に燃える生徒（行事に燃える）
- 校舎をきれいに使える生徒（きれいな校舎）
- 友だちと仲良くできる生徒（絆）

### 3 目指す教師像（良好な関係の構築をする）

- 厳しいながらも温かく指導する教師
- 生徒の笑顔と良さを引き出す教師
- 研修意欲と実践力のある教師

### 4 目指す学校像

- 生徒・保護者・地域と教師が信頼関係で結ばれている学校
- 生徒・保護者・地域と教師が笑顔で過ごせる学校
- 保護者・地域と教師が生徒の描く夢と生徒の心を大切にする学校

## III 教育目標を達成するための方策

### 1 指導の基本となる5つの視点

#### (1) 心の教育の充実を図る

- ① 「特別の教科 道徳」を要としてすべての教育活動において生徒の自尊感情を高めるよう、生徒の良さを認め、引き出し、互いの存在価値が認め合えるような教育を推進します。
- ② 生命を尊重し、自他の敬愛を重んじ、互いに協力して行事等に取り組む態度を育てます。特に、思春期を意識した性教育に取り組めます。
- ③ 生徒会活動・委員会活動の活性化を図り、生徒の自主的・自立的な活動を支援していくとともに、家庭、地域社会との連携した行事を行い、生徒の豊かな自己実現を支援します。
- ④ 礼儀を重んじ、きまりを守り、個人や集団生活の向上に努める心と態度を育成するとともに、集団生活を送る上で、他者を思いやることの大切にする心の醸成を図ります。

<達成するために目指す教師像>

- 道徳の授業を基盤に生き方を指導する教師
- 生徒と向き合い、自立心と自律心を育む教師
- 生徒理解に努め、生徒の心に寄り添える教師

(2) 学力向上を図る

- ① 確かな学力の向上・定着を図るため、生徒の学ぶ意欲を高め、分かりやすく、学力が伸びる授業を推進します。
- ② 各教科等において、グループ活動、話し合い活動を積極的に取り入れ、これからの時代に求められる資質・能力を育成します。
- ③ 少人数指導の実施等を通して個に応じた指導の充実を図ります。
- ④ 「港南プロジェクト」に基づき、分かりやすい授業実践に努めるとともに、授業規律の確立を目指します。
- ⑤ 情報化社会に必要なモラルを育成するとともに、効果的な場面をとらえてICTを活用した教育を推進します。
- ⑥ グローバル時代に対応できる生徒を育成するため、英検受検率100%を目指します。あわせて、漢字検定、数学検定の受検を推奨し、受験率を伸ばします。
- ⑦ 「港南ノート」を活用し、家庭学習の習慣化の確立を目指します。

<達成するために目指す教師像>

- 授業力を高めるために常に研さんを積む教師
- ICT活用に挑戦する教師
- 授業規律を大切にしながら生徒の主体性を育む教師

(3) 体力向上を図る

- ① 教科「保健体育科」学習の充実を図り、体力・運動能力の向上を図るとともに、豊かなスポーツライフの基礎の育成し、健康・安全な生活態度を培います。
- ② スポーツテスト、運動会、区連合体育大会、部活動等、体育的活動を通して体育・スポーツ活動の充実を図るとともに、自らの体力・運動能力の理解・向上を目指します。
- ③ 体力向上の基盤となる食事及び健康な身体づくりの大切さを理解し、自分自身で自らの健康を維持・向上を目指せるような生活態度を培います。
- ④ NPO法人クラブトムと協働したスポーツセミナーの開催を通して、生徒が本物に触れる機会を設定し、スポーツの楽しさや大切さに気付くような取組を推進します。
- ⑤ プラクティスタイムの中に、週1回学年スポーツタイムを設定して体力・運動能力の向上に努めます。

<達成するために目指す教師像>

- 運動の楽しさを味わわせる教師
- 部活動を指導し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎づくりをする教師
- 健康・安全に留意した体育活動を実践する教師
- 自ら体力向上を図る教師

(4) キャリア教育の充実を図る

- ① キャリア教育の視点で全教育活動をとらえ、基礎的・汎用的能力やコミュニケーション能力を育成します。

- ② 生徒の健全育成と自己管理能力を育むとともに、生徒の地域貢献の活動を推進し、社会や地域に貢献できる社会人、職業人、地域人を育成します。
- ③ 地域の事業所の協力のもと、コミュニケーション能力育成体験学習、職場訪問（第1学年）、職業体験（第2学年）を実施し、望ましい勤労観・態度を育成するとともに、生徒が将来の職業や生活を見通して、主体的に進路を選択できる力や態度を育てます。
- ④ 中学校卒業後の自らの進路についてしっかりと考え、将来の自分の目標を叶えるために今の日々を努力することができるような態度を育てます。そのために上級学校調べ、都立芝商業高等学校訪問及びマナー講座（第1学年）、都立三田高等学校の先生による都立入試対策講座（第3学年）、公私立高等学校長の進路講話の開催（第2、3学年）等を通して、生徒が上級学校への進路に対する意識をもてるようします。
- ⑤ 領域診断テスト、学力テスト等の資料を基に、一人ひとりの生徒に合った進路指導を進めます。

<達成するために目指す教師像>

- 社会に求められる人材、グローバル人材を育成する教師
- 生徒自身のもつ夢を育む教師
- 進路情報を理解し、指導・助言する教師
- 他者と協力し、助け合いながら課題の解決を図ろうとする心を育成する教師

#### (5) 特別支援教育の充実を図る

- ① 教育環境のユニバーサル化を推進し、障がいの有無に関わらず、誰もが学びやすい環境に努めます。
- ② 生徒一人ひとりの教育的ニーズの把握に努め、保護者と相談しながら、個に応じた支援を進めます。また、特別支援学級の生徒については一人ひとりの障がいの特性に沿った支援の仕方やかかわり方を全教職員が理解し、配慮していきます。
- ③ 特別支援学級と通常の学級との交流学級を通じた共同学習の充実を図ります。
- ④ 義務教育修了に当たり、生徒一人ひとりが自立した社会参加できるような人材の育成に努めます。
- ⑤ 共生社会の実現を目指し、誰もと手を取り合って生きていくことができるような人材の育成に努めます。

<達成するために目指す教師像>

- 生徒の成長や変化を見逃さずほめる教師
- 生徒の発達の特性を理解し、支援する教師
- 特別支援教育への理解を深める教師
- 合理的配慮のできる教師

## 2 特色ある教育活動の推進

### (1) 港南アカデミーを基に幼・小中一貫教育の推進

- ① 港南アカデミーの幼稚園・小学校との連携を深化・推進し、教職員同士が互いの取組への理解をさらに深めるよう質の高い連携を図ります。
- ② 港南アカデミーの幼稚園・小学校との連携を通して、幼児・児童・生徒の各発達の段階についての理解を深め、各校種におけるギャップの解消を図ります。
- ③ 港南アカデミーの幼稚園・小学校との連携を通して、各園・小学校の教職員に本校の生

徒の姿や教員の取組について理解を深めてもらうとともに、小・中学校のPTAや地域との連携をさらに深め、港南小学校及び芝浦小学校の児童及び保護者から信頼され、進学先として選択されるよう努めます。

(2) 東京海洋大学等他校種との連携の推進

- ① 東京海洋大学をはじめ、地域の関係諸機関との交流・連携を充実させ、地域の特色を取り入れた体験的な学習活動を推進します。
- ② 東京海洋大学と連携をして理科に関する興味・関心を高めるとともに科学的思考を育てます。その一環として毎月1回の運河学習を通して運河について理科の共同研究を行います。

(3) 地域総合防災訓練・運河教育の推進

- ① 芝浦港南総合支所、港南防災ネットワーク等と協力して港南地区総合防災訓練に参画し、地域の防災に対する意識や態度を育み、地域における中学生としての地域協働意識を養い、防災に対する意識を高め、自助・共助・公助の防災態度を育成します。
- ② 宿泊防災訓練による避難所開設訓練を実施するとともに、第1学年においては港南地域の防災施設・設備の所在と意義を学び見学する防災町歩きを通して、地域防災の意識を高めるような教育活動を推進します。
- ③ 地域の重要な防災拠点でもある運河を大切にしている心情や、美しい運河をもつ地域の一員として、自然環境との関係性を理解し、環境リテラシーを身に付け、持続可能な社会づくりに  
向けた教育を推進します。

(4) いじめのない学校づくりの推進

- ① 生徒一人ひとりが笑顔で、生き生きと意欲的に学校生活を送れる教育を推進します。
- ② いじめをしない、させない、許さない心と態度を育みます。
- ③ 日常的に全教職員が生徒の様子をよく観察し、生徒の声に耳を傾け、いじめの未然防止に努め、生徒が安心して学校生活を送れるようにします。
- ④ いじめ未然に防止に努めるとともに、早期発見、早期解決に努めます。
- ⑤ 年度当初にスクールカウンセラーとの面談を実施し、生徒が相談しやすい環境づくりに努めます。

(5) 体罰のない教育の推進

- ① 体罰は行いません。
- ② 服務事故防止研修を実施するとともに、体罰防止等服務規律の厳正を図り、保護者から信頼される教育活動を行います。

(6) 3年間の研究の成果の継承と検証

- ① 平成28、29年度に東京都道徳教育推進拠点校として生徒の道徳性を高める実践的研究の成果を活かし、道徳教育のさらなる充実を図ります。
- ② 平成28・29年度に港区教育委員会研究奨励校の指定を受け「『グローバル社会を主体的に生き抜く生徒の育成』～主体的・協働的学びに向かうために必要な資質・能力を育む授業づくり～」の研究成果を継承し、引き続き、学力向上を図るとともに、新学習指導要領の改訂のポイントの一つでもある「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して、さらなる授業改善を推進します。

- ③ 平成28・29・30年度に東京都教育委員会の指定を受け、「スーパーアクティブスクール」東京都指定校として生徒の体力向上に努めてきたことを踏まえ、引き続き、学習や諸活動の基盤となる体力向上に努めます。

### 3 その他、重要課題

#### (1) 人権教育の推進

- ① 生徒一人ひとりの個に応じた支援のあり方を学び、すべての生徒が、笑顔で楽しく学校生活が送れるような支援を行えるようにします。
- ② 互いの人格と立場を尊重しあい、差別や偏見を許さず、思いやりをもって他者と交流しあえるような態度を育みます。
- ③ 東日本大震災の学習を通して、命の大切さ、人と人とのつながり、他を思いやることを学び、これからの日本に役立とうとする生徒の育成に努めます。
- ④ 日本の伝統・文化理解教育を推進し、異文化理解、価値観の異なる他者とも認め合える豊かな心を育みます。

#### (2) 不登校生徒への教育

- ① 不登校生徒が学ぶ場を整えるとともに、生徒との関わりを大事にした「ステップアップルーム」を組織的に推進します。
- ② 年度当初にスクールカウンセラーとの面談を実施します。また、月1回、不登校の生徒・家庭との連携を図り、不登校出現率を5.0%にします。

(平成30年度：5.17% 第1学年：5名、第2学年：6名、第3学年：3名)

#### (3) 自己肯定感の醸成

- ① 生徒の活躍やまじめな生活態度を評価するために学校表彰を行い讃えます。
- ② 自分が希望する進路に向けて100%実現ができるようにします。

#### (4) 環境教育の推進

- ① 学校版環境ISOの取組として各学年の環境教育を推進します。
- ② 野辺山移動教室、尾瀬夏季学園や港区学校版環境ISOの活動を通して、環境問題に関心をもち、環境に対する人間の責任と役割を理解し、節電・省エネ・リサイクル等の実践的態度と行動力を養います。

#### (5) 安全・安心な教育環境

- ① 学校施設・設備の安全点検を毎月適切に行うと同時に、学校内外の環境美化と整理整頓に努めます。
- ② 学校内の事故やけがが起こらないよう、安全に配慮した学習指導を行います。
- ③ 携帯電話、SNSの使用については、家庭が主体的に取り組むことですが、その依存的行動により学習や生活の乱れ等を誘引しないように、学校・家庭の双方で協力し合って取り組みます。

#### (6) 学校力の向上

- ① 各主幹教諭・主任教諭は、それぞれの責任と協力の基に組織的な学年、分掌、学校運営を行います。
- ② 教職員の一人ひとりが個人の課題意識をもって外部研修に参加し、教科指導や生活指導その他の教師としての資質・能力の向上を図ります。

- ③ 学年会計、部活動会計、学校予算の適切な執行管理を行い会計事故防止に努めます。
  - ④ 学校だよりや学年だよりを定期的に発行し、港南中学校の教育活動を保護者や地域の皆様に常に公開します。また、ホームページも毎週更新し、各家庭への連絡はホームページのお知らせ欄も効果的に活用します。
- (7) 学校関係者評価（24項目中5項目、C・D・E評価計が35%以上）の低い項目を重点課題として取り組み、次の①から⑤までの各項目について、A・B評価計を65%以上、C・D・E評価計を35%以下にします。
- ※A：当てはまる、B：ある程度当てはまる  
 C：あまり当てはまらない、D：当てはまらない、E：分からない  
 小数点以下を四捨五入しているため、合計は100%になりません。
- ① 2－5「授業に工夫が見られ、分かりやすい授業が行われている」  
 A・B評価計：61% C・D・E評価計：40%
  - ② 3－11「いじめ防止に対する取り組みが効果的に行われている」  
 A・B評価計：60% C・D・E評価計：39%
  - ③ 3－12「不登校予防に対する取り組みが効果的に行われている」  
 A・B評価計：44% C・D・E評価計：57%
  - ④ 4－13「道徳の授業内容が充実している」  
 A・B評価計：60% C・D・E評価計：40%
  - ⑤ 6－19「不審者対応、ハイテク犯罪防止等に関わる取り組みが行われている」  
 A・B評価計：63% C・D・E評価計：37%

#### IV 長期的経営目標実現のための方策

- 1 豊かな心と健やかな身体を育む生徒を育成するために
  - (1) 心の教育を推進します。そのために、性教育を実施するとともに、「特別の教科 道徳」の授業を中心に生徒の道徳的実践力や道徳性を高める教育を展開します。
  - (2) 集団の中で好ましい人間関係の構築、個々の社会的自立の資質向上を図ります。
- 2 自他の敬愛と協力を重んずる生徒を育成するために
  - (1) 授業や行事の工夫をし、他を重んじ協調していく姿勢を育成します。
  - (2) 仲間と協力して目標を達成できるようにして達成感や成就感を味わえるようにします。
  - (3) 国際都市港区の地域性を生かし国際理解教育の充実を図ります。
- 3 学ぶ意欲と深く考える力を伸ばす生徒を育成するために
  - (1) 「わかる授業」の工夫・改善の推進を通して、課題解決学習や体験的な学習を積極的に取り入れ、すすんで学習に取り組む態度や課題を深く考え探究する態度を養います。
  - (2) 答えのない課題を仲間と協力し合って考え、討論し、解決のいとぐちを発見していく能力の育成を図るため、3年間を見通したキャリア学習を実践します。
  - (3) 生徒の授業に対する自己評価・授業評価を実施し学力向上の学習改善を行う。
  - (4) 勉強部を中心に補習・補充授業を計画的に実施する。さらに勉強部の効果を高めるために大学生の外部人材を活用した学習支援を行います。
  - (5) 成果指標を設定し、学力を高めていきます。全国学力・学習状況調査の全国平均を100としたとき、国語「110」、数学「110」を成果指標とします。区学力調査の全国平均

を100としたとき、中3理科「105」を成果指標とします。

- (6) 授業における学習と家庭学習が連動する学びのサイクルづくりを推進し、学習効果を高めていきます。あわせて、家庭学習の習慣化を確立するため、「港南ノート」の活用を通して、第1学年は60分以上、第2学年は70分以上、第3学年は80分以上の家庭学習を実施するように家庭の協力を得ながら指導していきます。

#### 4 港南地区を文教地区に高め地域の融合の中核となるために

- (1) 地域の教育力を学校教育に活かし学校教育の充実を図り、社会参加できる自立した生徒を育成します。
- (2) 近隣の港特別支援学校と連携し、交流を通して思いやりの心を育成します。
- (3) 地域参加型もちつき大会を実施し、地域との方々との交流を大切にする心を育成します。
- (4) 保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学や子ども中高生プラザ・芝浦港南総合支所との連携を密に図り地域で児童・生徒を育成します。
- (5) 共育懇談会を開催し子どもたちの健全育成を家庭・地域・学校の三者が協力をして推進します。
- (9) 地域に根ざし、地域コミュニティの中核としての役割を果たし地域密着した校風を作ります。

#### 5 港南中学校の学校規模を各学年4～5学級規模を想定した学校の体制づくりを進めるために

- (1) 生徒数の増加は、学習・学校行事及び部活動等に活気が生まれ活動が充実します。それにともない、生徒の自尊感情が育まれ、学校や地域を誇りに思う生徒の育成に連動していきます。このため当面各学年4学級規模の中学校を目指していきます。さらに、校舎改築へ発展するよう、生徒増に努め、平成35年までに港区基本計画に港南中学校の改築の事業計画に入れるよう努めます。
- (2) 教育力の向上を図り、授業・行事・特別活動等の充実に万全を期して取り組みます。
- (3) 生徒が希望する進路が決定できるように幼・小中一貫教育を推進します。
- (4) 港区教育ビジョンの実現のために、常に自己の資質・能力の向上を目指すように努めます。